

Q. 救急救命体制の強化を

A. 連携体制で対応しているが、なお研究する



稲田 輝宏 議員



緊急通報、いざ急げ!!

問 救急車は出動する
と、50分〜60分は帰
って来られない。
安心のまちづくりのた
めに増車を望む。
体制強化で多様化や高
齢化の加速に対応準備を。

答 町長
23年度の救急車出動数
は、1日平均3.4件で年々
増加の傾向にあり、その
6割が軽傷、中等症3割
重症1割となっている。

通報からの到着は平均
6.5分、また搬送は平均35
分で全国平均よりは短く
なっている。
伊予消防組合では6台
の高規格救急車の内、松
前消防署には配備が1台
だが、組合内での連携体
制の対応ができています。
本当に必要な時に速や
かに救急車が回せるよう
我々も努力するが、救急
車の正しい利用を町民の
皆さんにお願いしたい。
都市化・高齢者の増加
の中、先取りは大事だが、
増車は様々な規制もあり、
十分勘案し伊予消防本部
の取り組みなど研究して
いく。

古泉駅南道路は狭く離
合・待合いが困難である
ため、舗装は後でも良い
ので先行工事を。

問 安心なまちづく
りのために

答 産業建設部長

全体の交通の流れを考
えた場合、住宅地の整備
を先行したいと考えてい
る。
めどがつき次第、工事
を計画している。



おっと危ない、狭い通りでのすれ違い!!